

山本内閣府特命担当大臣（地方創生） 記者会見要旨

日時 平成 28 年 8 月 31 日（水） 12：10 ～ 12：15

場所 イイノホール&カンファレンスセンター 4F Room B3

（冒頭発言）

本日の会議では、小池東京都知事、熊谷千葉市長、高島福岡市長、奥山仙台市長、また、有識者の先生方から、改革意欲溢れるご提案・ご意見をいただき、大変心強く感じております。特に、小池新都知事のリーダーシップのもと、東京都全域で活用する「家事支援外国人材の受入事業」については、家事支援のニーズが最も高いと思われる地域において、事業を実施することで、女性の活躍促進が大きく加速されるものと考えております。

また、これまで、東京都と横浜市の 5 か所で活用されている「都市公園内の保育所設置」について、東京都のほか、福岡市や仙台市、大阪府豊中市など、地方の都市においても活用が広がり、全国の待機児童問題の解消に大きく貢献するものと考えています。

私は、「国家戦略特区」と、「規制改革」の双方を初めて一体的に担当することとなった大臣として、国家戦略特区をフル活用して、いわゆる岩盤規制に風穴を開け、地方の活性化につなげていきたいと考えております。

以上でございます。また、詳細について、必要があれば、事務方に聞いていただければと思います。

（質疑応答；区域会議関係）

問：今回提案されたもののなかで、大臣の主観で結構なんですけれども、目玉と考えるようなものはいくつかありますでしょうか。

答：まず、都市公園内の保育所設置が全国的に広まっていること。それから、家事支援外国人の受入れについて、東京都が全面的にやろうということになっていること。家事支援については、最も行う必要があるものだと思っておりますから、これら両方が活用されることは、大いに女性の活躍促進につながるし、外国人材、有能な専門的人材が非常に来やすくなるという意味で、大変、日本経済の活性化にも役立つと思います。また、横浜市で、都市再生事業の特例を使って住宅の容積率制限を緩和する取組を始めまして、これも外国人材が来やすくなることに貢献するんじゃないかと思っています。これらが、私にとっては非常に大きな目玉かなと感じております。

以 上